



札幌市サッカースポーツ少年団連盟 広報紙

2018.9.24 NO.9

きずな

4部リーグKブロック

4部Kブロックは、ニューノース白楊、上野幌西、cereza、北園美香保ユナイテッド、琴似中央、Safilva 三角山 U12、藤野 FC、YFC の8チームで行いました。

Kブロックの指導者の方々は、皆さんメンバーズファーストの精神でとても協力的・友好的にリーグを運営することができました。その中で選手たちは、リーグ全節を通して、伸び伸びと、そして着実に成長をしてくれたと感じております。



優勝は、北園・美香保ユナイテッド(写真)になりました。北園・美香保ユナイテッ

ドの選手は、一人一人の技術が高いレベルであって、尚且つ粘り強さ、イメージーションの豊かさにも目を見張るものがありました。そして、試合前後の挨拶やフェアな態度もさすがなところでした。

また、試合を応援・運営していただいた各チームの保護者の皆様のご協力にも大変助けられました。観戦マナーについても審判をリスペクトしていただき、選手への温かい声援を送っていただきました。その結果が選手たちの大きな成長に繋がったことは間違い無いと感じております。

来年度もメンバーズファーストを第一に考えて、指導者、保護者が一体となりリーグを運営していけるよう、ご協力の程、宜しくお願い致します。

4部リーグLブロック

4部Lブロックは、伏古北、太平FC、札幌シーガル、FILDFC、札幌BONITAU-12、札幌澄川JFC、日新、前田北の8チームで戦いました。各チームとも練習の成果を確認しつつ、拮抗した実力同士の試合となり、特に、終盤にかけて各選手の成長が見られたリーグ戦となりました。



優勝は、札幌澄川JFC。勝点31。失点が6とリーグ最少でした。堅い守備から攻撃を組み立てようとする試合展開が多く見られました。惜しくも、準優勝の札幌シーガルは、素晴らしいチームワークで混戦を抜け出すことができました。どのチームも、ベンチ入りした全選手に試合経験を積ませ、個を育てるとともに、チーム力も向上させながら戦っていました。

リーグ戦の運営については、どのチームにもすすんで会場を担当していただき、円滑に進めることができました。会場変更や雨天順延の際にも、快く会場を提供していただいた札幌シーガルの皆様、暑い中、会場運営をしていただいた太平FC、伏古北少年団の皆様にも、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、各チーム関係者、保護者の皆様につきましては、会場使用や駐車台数などご協力いただきありがとうございました。

